

令和7年度 都城市立今町小学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立今町小学校		校長名	鹿嶋 陽一	
学級数	8	児童生徒数	136名	職員数	19名
教育目標	○心やさしく実践力のある今町っ子の育成 (校訓) やさしく・かしこく・元氣よく				

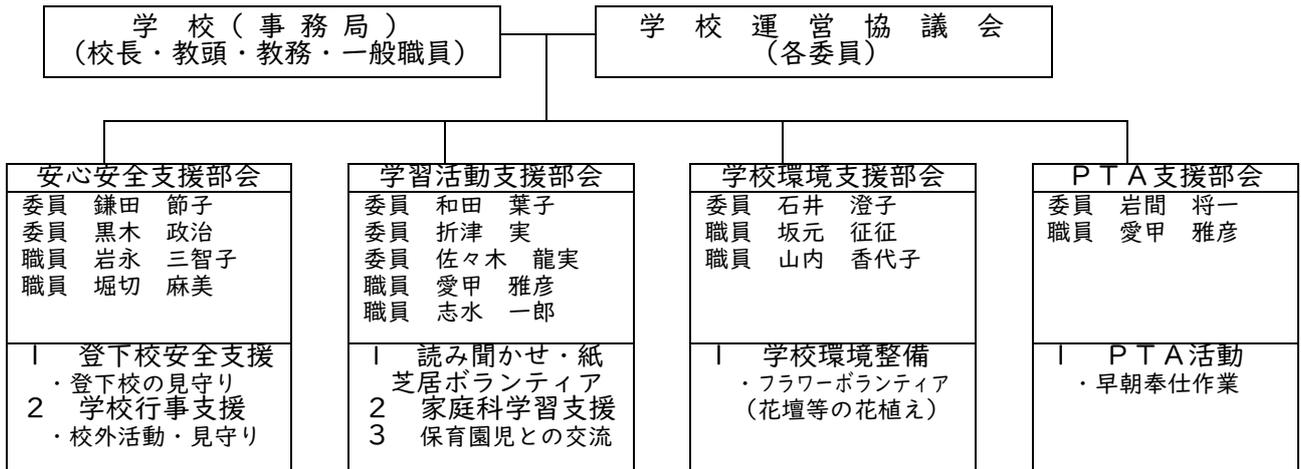
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員(計8名)・事務局(計11名)

学 校 運 営 協 議 会 委 員	No.	所属名(役職)	氏 名	備 考
	1	認定こども園今町保育園園長	佐々木 龍実	委員長
	2	中今町自治公民館館長	日高 覚助	副委員長
	3	上今町自治公民館副館長	黒木 政治	
	4	横尾地区民生委員児童委員	石井 澄子	
	5	主任児童委員、紙芝居代表	折津 実	
	6	読み聞かせボランティア代表	和田 葉子	
	7	元学校事務職員	鎌田 節子	
	8	現PTA会長	岩間 将一	

事 務 局	役 職	氏 名
	校 長	鹿嶋 陽一
	教 頭	愛甲 雅彦
	教 務	志水 一郎

(2) 組織編制



3 年間の活動計画

月 日	主な活動及び内容
4月	・学校運営協議会委員選出・依頼
5月16日	・第1回学校運営協議会(委嘱状交付、学校経営説明、学校運営協議会年間計画協議)
5月26日	・運動会 ※参席・観覧
6月19日	・第2回学校運営協議会(授業参観、学校経営状況説明、学校運営協議会活動協議)
7月31日	・3校合同学校運営協議会(第3回学校運営協議会)(各学校の活動状況報告、中学校区内におけるよさや課題についての協議)
9月	・家庭科ボランティア(6年生、5年生)
11月28日	・フラワーボランティア活動(児童・保護者・地域住民の協働で花の苗植え)参加 ※インフルエンザ感染防止のため中止。児童のみで実施。
12月 3日	・戦争に関する講話(6年生対象、1時間)
12月 4日	・第4回学校運営協議会(校内縄跳び大会参観、学校経営状況説明、学校評価説明) ※インフルエンザ感染防止のため中止。資料のみ配付。
2月19日	・第5回学校運営協議会(授業参観、学校経営状況説明、学校評価説明、学校関係者評価協議)

4 今年度実施した「熟議のテーマ」（小中合同学校運営協議会を含む）

7月：「五十市中学校区内におけるよさや課題について」

報告会では、よさについて「児童・生徒の素直さ、明るさ。挨拶」が挙げられていた。課題としては、「交通ルールマナー、保護者の横のつながりが希薄になっている」という意見が出された。特に、中学校は、各小学校から集まってくるため、なじむのに時間がかかり、それが保護者にもつながっているとの意見だった。よさ・課題ではないが、今年度本校が取り組むPTAと地域が合同で開催する「今町っ子まつり」が話題になっていた。この取組が五十市校区に広がっていくことを願う声がたくさん聞かれた。

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

○ 読み聞かせ・紙芝居ボランティア

児童の読書教育、情操教育を培う観点から、毎週火曜日の朝の活動の時間に、読み聞かせ・紙芝居を行ってもらっている。児童が熱心に聞いたり、反応したり質問したりする姿が見られた。



【学習支援部会による読み聞かせ】

○ 登下校見守り活動

児童の登下校の安全を確保することを目的として、見守り隊による通学路の交差点や横断歩道などでの登下校時の見守り活動を行ってもらっている。おかげで、毎年、交通事故0を継続している。



【安心安全部会による登下校の見守り】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

○ 家庭科学習ボランティア

高学年の家庭科の裁縫の学習活動において、指導者不足が課題として挙げられている。そこで、地域住民の協力により、手縫いやミシン縫いの学習活支援をしていただいた。おかげで、安全に、計画的に進めることができた。



【学習活動支援部会による家庭科支援】

○ 戦争に関する講話

教科書からの情報だけでは児童に戦争や平和について関心を深めさせることが難しいという課題が挙げられている。そこで、戦争体験者を講師に、6学年の社会科学習に関連して戦争中・戦後の生活について、直接、話を聞く機会を設けた。平和について考えるよい機会となった。



【学習活動支援部会による戦争体験講話】

○ 校外学習の引率

1年生の校外学習において、学級担任だけでは、安全面に不安があるとの課題が挙がった。そこで、児童引率補助をお願いした。複数の目で対応することで、安全に学習を行うことができた。今回は、「通学路探検」という学習内容だったため地域住民目線での危険箇所等の説明もあり、より安全意識を高めることができた。

6 学校運営協議会の成果と課題（○:成果 ●:課題）

- 地域の方の協力で教育活動・学習活動を充実させることができた。家庭科学習時のミシン操作支援活動は、教員の負担軽減にもつながった。また、通学路点検では、学級担任では、分からない地域ならではの情報を知るよい機会となった。
- 地域人材活用の年間計画を作成し、協議会で提示したことで、見通しをもって取り組むことができた。
- 本年度は、本校で3校合同での学校運営協議会を開催し、活発な意見交換を行うことができた。これにより、中学校区内の児童・生徒の状況や課題等を確認することができた。
- 地域人材活用が固定化してきており、深まりが薄くなっている。さらに活性化していくために、熟議をしていく必要がある。

7 次年度の方向性

- 今年度、地域の取組として、懇和会(地域住民・本校保護者等)が中心となり「今町っ子まつり」を開催した。次年度は、学校運営協議会との連携を強化し、学校・保護者・地域のつながりを深めたい。